

議会だより

3月定例会

■発行／八千代町議会

■編集／議会だより編集委員会

東日本大震災により被害を受けた皆様へ心からお見舞い申し上げます。

平成23年第1回定例会は、3月8日から16日までの9日間の日程で開催されました。

この定例会では、町執行部より平成23年度一般会計予算をはじめ、平成22年度補正予算や条例改正など27議案が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。

一般質問は3月15日に行われ、4人の議員が登壇し、町の方針をただしました。

可決した議案内容

専決

◇平成22年度八千代町一般会計補正予算（第3号）の専決処分承認

町議会議員補欠選挙経費及び国の補正予算に伴い、歳入歳出それぞれ5千442万3千円を追加し、予算総額を71億5千976万4千円とするものです。

条例

◇八千代町長等の給与の特例に関する条例の一部改正
町長等の特別職給料の減額抑制措置（町長20%、副町長10%、教育長10%）を平成27年1月31日まで特例期間の延長をするものです。

◇八千代町職員の給与に関する条例の一部改正

平成18年の人事院勧告、同年11月に公布された一般職の給与に関する法律の一部改正により管理職手当の定額制が施行されていることに伴い、準則に基づき定額制へ移行するため、管理職手当の上限額を設けるものです。

◇八千代町医療福祉費支給に関する条例の一部改正

平成23年4月1日より県の医療福祉費助成制度の改正に伴い、妊産婦医療福祉費受給者証の交付申請等を簡素化するものです。

◇八千代グリーンビレッジの設置及び管理に関する条例の一部改正

コテージの使用状況が、シーズン期間とシーズンオフ期間で開きがあるため、利用料金を改めるものです。

その他

◇八千代町土地開発公社の定款変更

土地開発公社経理基準要綱の一部改正に伴い、定款中の損益計算書の次に「キャッシュ・フロー計算書」を加えるものです。

◇町道路線の廃止

下結城地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う、松本地内10路線、町道としての機能喪失による今里地内他4路線、路線整理による菅谷地内5路線を廃止するものです。

◇町道路線の認定

下結城地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴う、松本地内13路線、路線整理による菅谷地内2路線、町道整備による粕礼地内1路線を認定するものです。

平成22年度補正予算

会計区分	3月補正額	補正後総額
一般会計	1億7,649万5千円	73億3,625万9千円
国民健康保険	△207万7千円	28億7,519万6千円
老人保健	1,480万6千円	1,892万7千円
後期高齢者医療	△1,820万2千円	1億4,698万4千円
介護保険	8,281万8千円	13億8,870万円
区画整理	△1,106万1千円	1億6,683万9千円
農業集落排水	1,067万9千円	2億5,697万3千円
下水道	1,062万1千円	3億5,267万3千円
水道事業	△3,054万3千円	5億4,706万1千円



輝く未来のために

平成23年度予算

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減率%
一般会計	68億6,600万円	69億円	△0.5
国民健康保険	26億5,803万円	28億5,106万円	△6.8
後期高齢者医療	1億5,293万円	1億6,273万円	△6.0
介護保険	13億7,712万円	12億4,696万円	10.4
区画整理	1億1,150万円	1億6,840万円	△33.8
農業集落排水	2億5,550万円	2億4,420万円	4.6
下水道	3億3,397万円	3億3,855万円	△1.4
水道事業	5億8,515万円	5億7,707万円	1.4

人事

◇八千代町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

委員の任期満了に伴い、安田正一さん（塩本）を再任することに同意いたしました。

◇副町長の選任同意

副町長に生井光男さん（瀬戸井上）を選任することに同意いたしました。

請願審議結果

3月定例会では、1件の請願が教育民生常任委員会に付託審議され、審査の結果を本会議で諮り採択となりました。

◇「堆肥工場建設に関する請願」

芦ヶ谷二本木内に建設予定の堆肥工場について、生残さの搬入による液体の飛散、堆肥熟成過程での臭気の発生、ハエの自然発生等生活環境の悪化を招く恐れがあるため、周辺行政区(芦ヶ谷新田、舟戸、仲坪、山ノ神、神山、尾崎、大間木)の区長を代表して、町議会に「建設反対」を請願するものです。

【請願代表者】

神山行政区長 須澤哲郎さん

(審議結果 採択)



一

般

質

問

4人の議員が町政について質問 平成23年度町政運営方針について



小島由久議員

今定例会で町長から町政運営方針を聞きましたが、厳しい状況を乗り越えるため、毎年、歳入歳出の見直しを続けていくだけでは、町は益々活気がなくなっていくと思います。町にある借金を減らしつつ、いかに財源を確保していくかが第一であると思いますが町長の考えをお伺いいたします。私は町の財源確保において、企業誘致は有効な手段のひとつであると考えています。日野自動車工場の進出については、古河市でも様々な誘致策を考えておりますので、町としても悠長に構えている場合ではないと思います。そこで、当町における企業

誘致について町長の考えをお伺いいたします。

また、エフピコ工場拡張については、町の仲介により用地が確保され、町とエフピコの間に関係ができたと思えます。

そこで、町の税収確保のため、この拡張工事に対してできるだけ地元の会社を採用していただくよう町から要望していただきたい。

町長

4期目の行財政運営については、適切な財源の確保を図りながら、効率的かつ健全な財政運営に努めてまいります。

日野自動車の進出については、県を通じて下請企業の誘致相談ということで後日、議長とともに直接訪問したいと考えております。

エフピコの工場拡張については、第1工場が本年4月中旬に着工予定で、来年4月中旬に稼働を予定しております。第1工場の新規採用人数については、約70〜80人を予定しているとのことであり、また、拡張工事については、できるだけ地元の会社を採用していただくよう、申し入れをしていきたいと考えております。

1級町道8号線の進捗状況について



日野自動車の工場建設予定地



中山勝三議員

1級町道8号線は、八千代町のほぼ中央部を西から南東部に抜ける道路として途中に若の工業団地もあり、特に近年は古河市とつくば市方面を結ぶラインとしての利用も増

えております。さらに来年から古河市名崎地区に移転開始予定の日野自動車の工場と直結する道路として、その必要性がますます高まっています。

しかし、現状は新地の変電所付近で工事が中断し、数年経っても、道路本体の工事が止まったままになっております。

東露田内は、狭くてカーブが多く、事故も多発して大変危険な状況となっております。住民の方々からも早く整備していただきたいとの多くの要望があります。

昨年度と今年度におきましても流末整備の工事や用地の購入補償など予算化されていると承知していますが、現在の道路の進捗状況と23年度予算計上されておりますが、工事概要についてお伺いします。

また、筑波サーキット西側道路への接続に何年と計画しているのかお伺いいたします。

都市建設課長

1級町道8号線は、県道結城坂東線から新地の変電所脇までが完成しております。

23年度の工事概要については、南に延長200mの工事と東露田の町道7号線との交差点改良工事並びに南側のセ

ブンイレブン方向へ延長150mの道路改良工事を実施する予定でありまして、工事費については、7千650万円を計上しております。

また、筑波サーキット西側道路への接続見通しについては、事業期間を平成33年度までと計画しております。

町長

1級町道8号線については、早期完了に向け鋭意努力しておりますが、用地買収が難しく、工事が遅れていますのでご理解いただきたいと思っております。



工事が中断している新地の変電所付近

その他の質問

○救急医療情報キットを備えようとして

農業に関する野焼きについて



水垣正弘議員

当町において、農業は町の基幹産業という位置付けにあり、重要な役割を担っておりますが、農業を取り巻く問題のひとつに、農業を営むうえで排出される、メロンやトマトなどのつるやナスの木、梨の剪定枝などのいわゆる農業生産物の残さ処分問題があります。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の2では、一般的には廃棄物を焼却処分することは禁止されておりますが、例外を一部認めております。

例外として「周辺地域の生活環境に与える影響が軽微である廃棄物の焼却として政令で定めるもの」とあり、この政令で定める廃棄物の焼却として「農業、林業、または漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の

焼却」があげられています。

環境問題は、産業分野や経済活動と密着に係り、町、町の基幹産業として位置付けられている農業を今後さらに発展させていくためには、この問題をよく考えていかなければならないと思っております。

農家による焼却処分を単に野焼きというくりでとらえるのではなく、例外として認められるような、町独自の条例を考案し制定することができないかお伺いいたします。

産業振興課長

産業振興課といたしましては、農業生産残さの野焼きにつきましては、法律により適正に処理されているものと考えております。

生活環境課長

野焼きについては、農業用ビニール等の焼却を除く農業関係の野焼きは例外規定とされていますが、例外規定とされた行為であっても、周辺住民の生活環境へ著しく影響を与えるなど、苦情が寄せられた場合は行政指導の対象となります。

上位法令がありますので、町独自の緩和する条例制定は

難しいものと考えております。



厳しい罰則がある野焼き

住宅リフォーム助成制度の復活を



大久保弘子議員

現在、地域活性化事業の一環として、地域活性化交付金などを活用した、住宅リフォーム助成制度が全国180以上の自治体に広がっております。

近隣では、古河市、結城市、下妻市、坂東市などが実施しており、筑西市でも2011

年度から実施に向けて条件整備中です。

また、下妻市では、10万円を補助するところへ商工会も10万円上乘せして20万円の補助で、300万円の予算は1カ月で使い切ったとのことでした。

これほど費用対効果の大きい事業はありません。さらに懸案の木造住宅の耐震補強工事にもこの制度は有効で国の補助金も見込まれるものです。

当町におかれましても地域活性化交付金などを利用して改めて住宅リフォーム助成制度の復活をお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

また、今回の大地震による災害対策の一環としても住民の暮らしを守るため緊急に要綱なども検討して実施していただきたいと思いますが見解をお伺いいたします。

産業振興課長

当町におきましても、住宅リフォーム資金助成事業として、平成14年度から18年度までの5年間実施いたしました。

八千代町住宅リフォーム資金助成要綱も、平成19年3月に廃止になっておりますし、

担当課といたしましては、厳しい状況でありますので、復活は難しいと考えております。

町長

八千代町でも5年間モデル事業として、地域活性化事業のひとつとして実施してきましたが、議会にも諮りまして要綱を廃止した経過がございます。

今後、耐震につきましては、国・県等の指導もありますが、多額の費用がかかるため交付金等があれば対応していきたいと考えております。



住宅リフォーム助成制度の復活を

その他の質問

○介護保険の受領委任払い制度について

視察報告



圏央道現地視察

議会では、1月31日に圏央道工事箇所の現地視察をしてきました。

今回、視察した国道294号線に接続する水海道IC予定地周辺については、現在急ピッチで工事が進められていましたが、坂東市勘助新田周辺では工事が遅れている状況でした。

圏央道については、特に茨城県西部区間の整備が遅れており、渋滞緩和や地域経済活性化のために開通が待ち望まれています。

議会としても国・県を通して一日も早い開通を要望していきたく考えています。



圏央道予定地の坂東市勘助新田周辺

議会組織の選任等

◎委員長 ○副委員長

※新委員

総務常任委員会



中山亨委員

(委員)

- ◎矢中召二 ○小島由久
- ※中山 亨 上野政男
- 小竹徳市

議会運営委員会



上野政男委員

(委員)

- ◎水垣正弘 ○中山勝三
- ※上野政男 小島由久
- 稲葉常美 宮本直志

茨城県後期高齢者医療
広域連合議会



小島由久議員

全国町村議会議長会表彰

2月9日に、全国町村議会議長会より、永年にわたる地方自治功労者として、当町議会の小島由久議員、矢中召二議員、水垣正弘議員が議員15年以上在職者として表彰されました。



左から表彰を受けた水垣正弘議員、小島由久議員、矢中召二議員

茨城県町村議会議長会表彰

2月15日に茨城県町村議会議長会より、永年にわたる地方自治功労者として、当町議会の大久保敏夫議員が議員20年以上在職者として表彰されました。



大久保敏夫元議員

町議会より被災地へ
義援金を贈りました

一日も早い復興を

3月11日午後2時46分東日本大震災発生時、町議会では、定例会の会期中でした。当日は産業建設常任委員会が開催されている真つ最中で、役場庁舎の4階は何度も大きく揺れ、机や椅子、書類が散乱し今まで体験した事のない驚きと、恐怖を感じました。

テレビをつけると、見たこともないような大津波が海沿いのまちを次々と飲み込み破壊していく悲惨な光景が流れ、当町においても多数、屋根や外壁、塀などが破損するなどの被害がありました。

直ちに全議員から被災地に向けた支援の声が高まり、義援金を贈ることが決定され、あわせて町へも支援を要請いたしました。

今回の地震で被災された皆様方へお見舞いと一日も早い復興を議員一同、心よりお祈りいたします。

(義援金)

- 贈り先…日本赤十字社
- 金額…10万円
- 贈り主…町議会議員全14名